

タイトル (24~32pt)

福井県立若狭高等学校 理数探究科 (17~19pt)

若狭花子・若狭太郎 (17~19pt)

1.序論 (24pt)

目的 (20pt)

- ・ どのような問題に取り組むのか (11pt~14pt)
- ・ 何をやるのか

背景

- ・ 何を前にして
- ・ どうして取り組むのか
- ・ どういう着眼で (着眼理由も)

まとめ

結論

取り組んだ問題への解答
不十分であった点や、今後の展望

2.研究対象と方法

研究対象

基本事項と研究と関係する特徴を述べる。生物の場合どの場所で採取されたか、種名など詳しく書く。

方法

他人が研究を再現できるように
実験の狙いと方法
複数実験をする場合それぞれに番号をつける
データ処理の方法

4.結果②

英語の場合

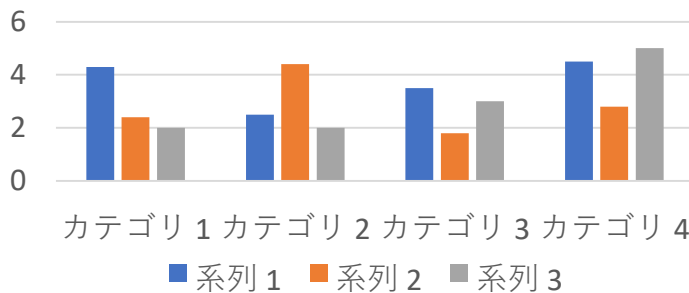
英語のフォントは "Arial" が読みやすい

3.結果

〇〇に対する△△の×× (1)

△△が××だとこうなる (端的に)

グラフ タイトル



上のグラフから言えることを端的に

5.考察

結果の解釈や議論 (そのような結果になった理由や結果から言えること)

一連の結果から言えること
他者の研究についての議論 (可能なら)

付録 (必要に応じて)

詳細な研究方法の説明
お世話になった人や機関への謝辞

なぜ、日本代表は強いのか： 勝利を呼ぶ特上寿司仮説の検証

ベガルタ高校
中村 真実・伊藤 美菜子・坂井 優紀
指導教員 酒井 聡樹

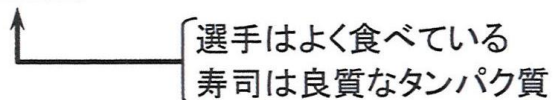
序論

目的

なぜ、日本代表は強いのか？
《特上寿司を食べているからという仮説を検証》

背景

- ☆ 日本代表は強い。俊敏性の高さが特徴
- ☆ 強さの秘密がわかれば、**継続的強化**に適用できる
- ☆ **特上寿司**のおかげで敏捷性向上？



まとめ

結論

日本代表が強いのは**特上寿司**を食べているから

↑
なぜなら

- ☆ 食べた年ほど勝利数が多かった (①)
- ☆ 食べるのを止めたら弱くなった (②)
- ☆ 他国が食べ始めたら強くなった (③)

継続的強化のために

- ☆ 特上寿司を計画的に食べるのが有効

調査対象と方法

調査対象

日本代表

- ☆ ワールドカップに5大会連続出場中
- ☆ 2002年・2010年のワールドカップで16強
- ☆ メキシコオリンピック銅メダル
- ☆ アジア王者4回

調査・実験方法

1. 特上寿司を食べた回数と勝利数との関係 (①)

1年間に特上寿司を食べた回数(1人あたり) ↔ その年の勝利数

- ◇ 2005 - 2013年のデータを解析
- ◇ 各年から10試合を抽出

対戦相手の実力が揃うよう
機械的に選定

2. 特上寿司を食べるかどうかの操作実験

試合前の2週間処理を行い、勝利数を比較

日本代表の選手が特上寿司を**絶つ** (②)

絶った7試合 ↔ 絶たなかった7試合

スイス代表・パラグアイ代表の選手が
特上寿司を**食べ続ける** (③)

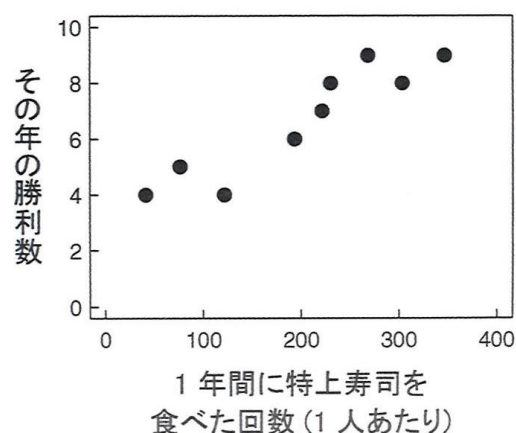
食べた7試合 ↔ 食べなかった7試合

- ◇ 2013年に行った
- ◇ 対戦相手の実力は揃えた

結果

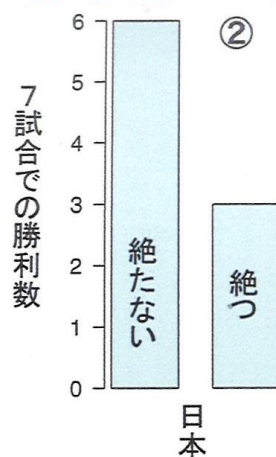
1. 特上寿司を食べた回数と勝利数との関係 (①)

特上寿司を食べた年ほど勝利数が多い



2. 特上寿司を食べるかどうかの操作実験

特上寿司を絶ったら
弱くなった



特上寿司を食べ始めたら
強くなった

